

日本空調グループ

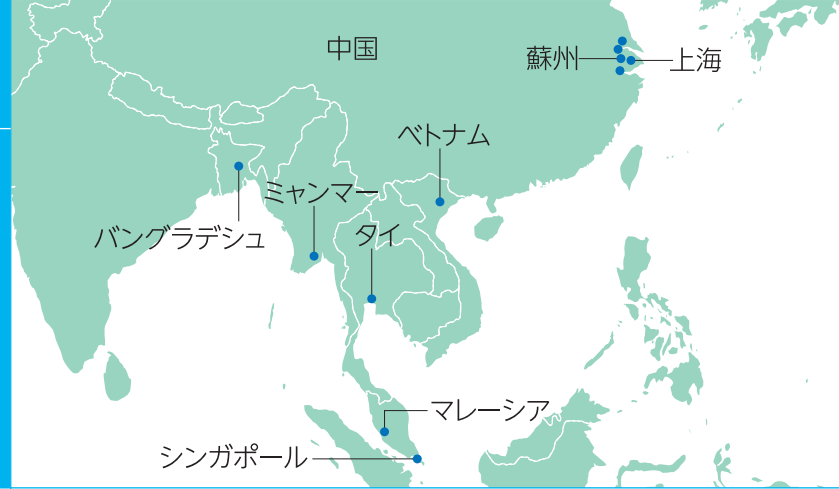
日本空調サービス(株)

本社・支店・営業所: 65拠点

グループ会社

国内6社: 16拠点

海外9社: 11拠点(7ヵ国)



- 日本空調サービス(株)
- 日本空調システム(株)
- (株)日本空調北陸
- (株)日本空調東北
- (株)日本空調東海
- 日空ビジネスサービス(株)
- イーテック・ジャパン(株)

- 蘇州日空山陽機電技術有限公司
- 上海日空山陽国際貿易有限公司
- NACS BD Co., Ltd.
- Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- NACS Singapore Pte. Ltd.
- NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.
- NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.
- NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.
- NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.

www.nikku.co.jp

拠点網の動向

2018年4月 西日本空調管理(株)、日本空調四国(株)を吸収合併により事業統合

- 1 小樽営業所を開設
- 2 静岡支店を開設
- 3 岐阜支店を開設
- 4 北信出張所を開設

2019年4月 (株)日本空調岐阜を吸収合併により事業統合



※拠点情報につきましては、2019年5月31日現在で表記しております。

UD FONT
by MORISAWA
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



診ているのは、
見えない空気です。



株主の皆様へ

第56期 報告書

2018年4月1日~2019年3月31日

日本空調サービス株式会社

証券コード: 4658





日本空調グループ 経営理念

お客様に安心感を与える
最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、
高品質サービスを提供する。

全社員が一丸となって経営理念を共有し、
お客様の満足度のより一層の向上を追求
しております。

これからも、建物設備のメンテナンスサー
ビスを通じて、建築物に要求される最適な環
境を実現する「環境創生企業」として社会
に貢献することが、私たち日本空調グルー
プの使命であると考えております。



CONTENTS

株主の皆様へ	2
連結業績ハイライト	3
特集 2019中期5カ年経営計画 ～全てのステークホルダーの幸せ向上～	5
株主様アンケート結果報告	8
会社情報	9

株主の皆様へ

日本空調ブランドの一層の強化と
グローバル化を促進させ、
全てのステークホルダーの幸せを
追求してまいります。

株主の皆様には平素より
格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社2019年3月期
(2018年4月1日から2019年3月31日)における
営業の概況ならびに決算の内容等につきまして
ご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、
今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。

2019年6月
代表取締役社長 田中 洋二



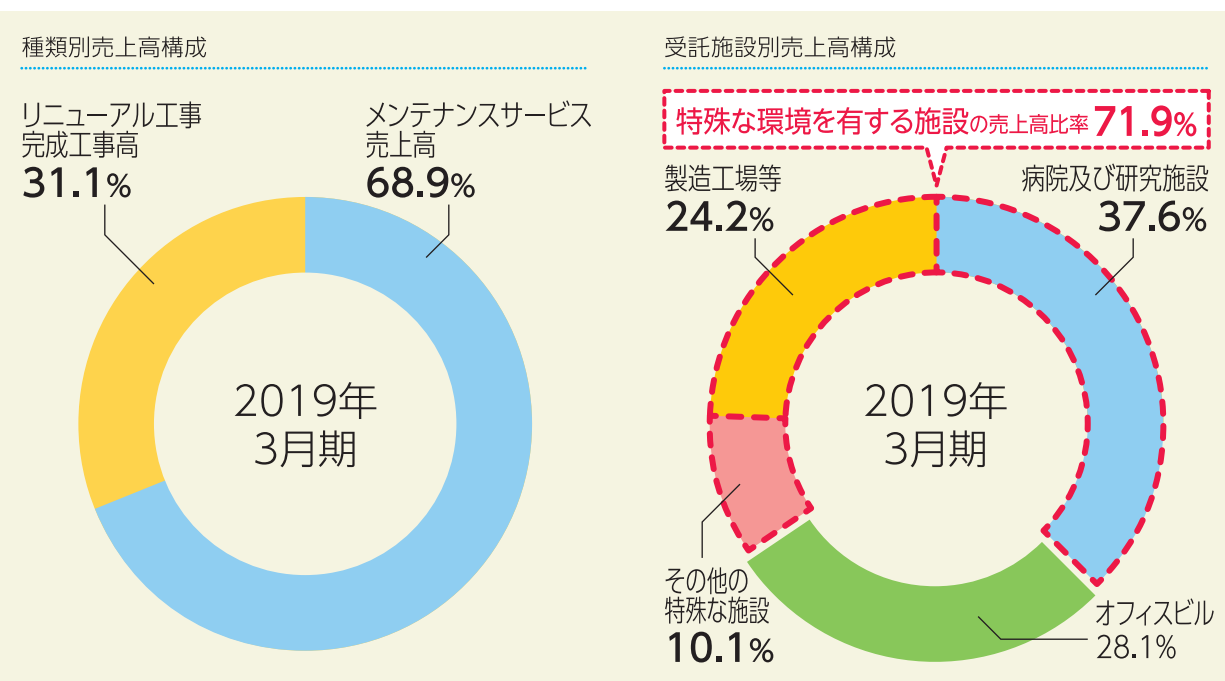
2019年3月期の連結業績

当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、当社のノウハウを活かした設備及び環境診断・評価、ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)を通じてお客様の潜在的ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。この結果、当連結累計期間の売上高は**46,389百万円**(前連結会計年度比**2.0%増**)、営業利益は**2,600百万円**(同**4.8%増**)、経常利益は**2,725百万円**(同**5.7%増**)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、法人税等調整額を含めた税負担が減少したことなどにより**1,792百万円**(同**14.8%増**)となりました。

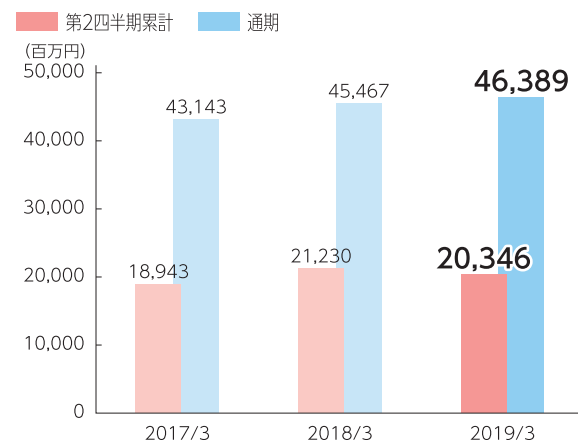
詳細な財務情報は、当社Webサイト www.nikku.co.jp 掲載の**決算短信**をご覧ください。

[トップページ](#) ▶ [投資家情報](#) ▶ [IRライブラリ](#)

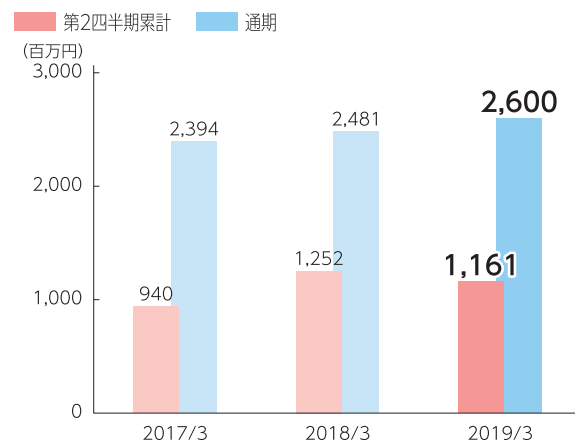
	2018年3月期	2019年3月期	増減率
売上高	45,467 百万円	46,389 百万円	2.0% UP
営業利益	2,481 百万円	2,600 百万円	4.8% UP
経常利益	2,579 百万円	2,725 百万円	5.7% UP
親会社株主に帰属する当期純利益	1,561 百万円	1,792 百万円	14.8% UP



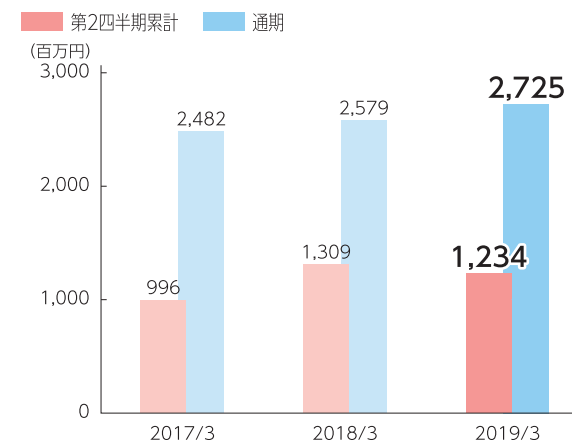
売上高



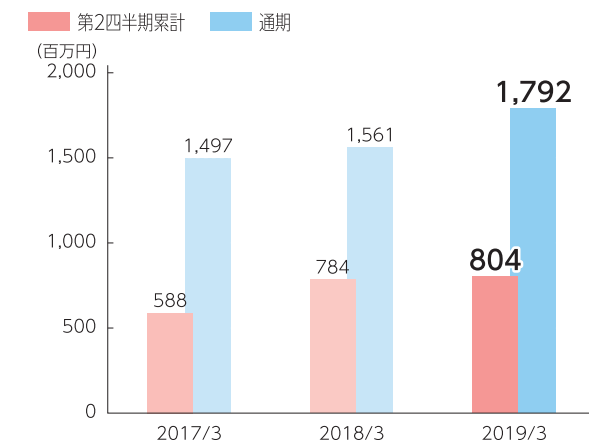
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



特集 2019中期5カ年経営計画

～全てのステークホルダーの幸せ向上～

日本空調グループはこの度、2019年度を初年度とする「2019中期5カ年経営計画」(以下、本計画)を策定しました。今回は本計画について、Q&A形式でご説明いたします。

Q1 本計画の本質である長期ビジョン「全てのステークホルダーの幸せ向上」について詳しく教えてください。

A1 当社グループの経営理念「お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する」に基づき、ステークホルダーである「顧客、従業員、株主」全員の幸せを向上させ、ひいては社会全体の価値向上に繋げることを長期ビジョンとした本計画を策定いたしました。

長期ビジョン「全てのステークホルダーの幸せ向上」を目指す

顧客 高付加価値サービスを提供する	従業員 満足度と技術力を高める	株主 安定した還元を実施する
-----------------------------	---------------------------	--------------------------

社会全体の価値向上に繋げる

<p style="text-align: center;">環境 Environment</p> <p>本業(メンテナンス)による 環境負荷低減</p>	<p style="text-align: center;">社会 Social</p> <p>ダイバーシティの一環として 国内外での雇用創出による 社会の活性化</p>	<p style="text-align: center;">企業統治 Governance</p> <p>ガバナンスの継続的な充実による 企業価値向上</p>
---	---	--

Q2 本計画で掲げている経営戦略・5年後の目標について具体的に教えてください。

A2 以下の7つの経営戦略によって5年後の目標達成を目指してまいります。
※ 現在・・・2019年3月期(実績)
 5年後・・・2024年3月期(目標)

1 特殊な環境を有する施設に対する高品質サービスの提供及びワンストップサービスの強化

特殊な環境を有する施設*1の売上高比率

現在	5年後
71.9%	75%

- 「医薬・再生医療エンジニアリング部」を新設。(2019年4月1日付)
→今後も成長が期待できる医薬関連業界のシェアを拡大させる。
→全国の医薬品製造工場、再生医療研究施設等のニーズに重点的に応える。
- 全国の製造工場に対する営業活動を強化する。
→全都道府県にある拠点網を生かし、お客様のニーズに応える。
- 引き続き、特殊な環境を有する施設へ傾注する。

※1 「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」

2 海外展開

海外営業利益比率*2

現在	5年後
▲1%	5%

- アジア圏に進出している日系製造工場に、日本と同様の高品質サービスを提供する。
- 進出拠点における早期収益化に務める。
→当社グループのソリューション提案等の強みを生かし、営業力を強化することで、現地企業との差別化を図り受注拡大を目指す。

※2 連結営業利益に占める海外営業利益比率

3 従業員満足度向上

満足度*3

現在	5年後
63.5%	70%

- 「採用」「働き方」「効率化」をキーワードとした各種プロジェクトを推進中。
→従業員の福利厚生や給与水準、手当等の充実、作業効率化ツールの導入を検討し、従業員が働きやすい環境を整備する。

※3 当社実施の「従業員満足度調査」の結果を基に算出


4 熟練技術者の養成強化

技術力指数*4

現在	5年後
19.9P	20P

- 従業員の資格取得推進、OJT・社内技術研修センターにおける実践的な教育訓練の実施、社内での技術オリピックの開催等により、技術力向上を醸成する。
- 定年後の継続雇用やインストラクター制度等によるベテラン・中堅社員から若手社員への技術伝承に努める。

※4 当社の「技術系公的資格取得数×資格点数(当社基準)÷技術系従業員数」にて算出
技術研修センターにて教育訓練を実施▶



5 国内外での業容拡大

外国籍従業員数*5

現在	5年後
143名	150名

- 国内外での更なる業容拡大に向け、外国籍の人材を積極的に採用する。

※5 当社及び海外グループ会社の外国籍の従業員数



第56期上半期報告書ご送付の際に同封しました「株主様アンケート」につきまして、以下に集計結果の一部を掲載させていただきます。

※本誌に掲載しきれなかった内容につきましては、当社Webサイトにて公開しております。

Q 当社株式購入の際、もっとも重視したこと **Q 今後の当社のIR活動について期待すること** (複数回答可)

1位 安定性 (含む配当期待) 37.2%	1位 株主向け説明会・ 懇親会の継続 31.1%
2位 成長性・将来性 (含む値上がり益期待) 32.8%	2位 株主向け報告書の内容の充実 18.2%
3位 財務体質・健全性 7.4%	3位 個人投資家向け会社説明会の 開催数の増加 11.7%
次点: 当社のビジネスモデル 6.1%	次点: 株主総会の充実 11.6%

POINT

結果から、当社の「安定性」が最も高い評価を得ていることが分かりました。今後も安定した事業経営により配当の原資となる利益を継続的に向上させ、株主様への利益還元に努めてまいります。

6 営業利益及び1株当たり当期純利益の増加	● 営業利益…現在26億円→5年後に30億円を目指す。(営業利益率5.5%維持) ● 1株当たり当期純利益(EPS)…現在51.11円→5年後に54円を目指す。
EPS 現在 51.11円 5年後 54円	
7 自己資本当期純利益率の維持	● 自己資本当期純利益率(ROE)…現在10.8% →資本効率を意識した経営に努め、10%維持を目指す。
ROE 現在 10.8% 5年後 10%維持	

Q3 本計画達成の要となる、「日本空調グループの強み」について教えてください。

- A3**
- メーカーの制約を受けずに建物設備の保守・維持管理を可能とする独立系企業グループであること。
 - 空調の他、電気・給排水衛生も含めた建物設備全般の管理や、環境診断・評価、ソリューション提案をワンストップでお客様へご提供できること。
 - 管理に高い技術力を必要とする病院及び研究施設、製造工場、空港等、特殊な環境を有する施設の管理を得意としていること。
 - 全都道府県に営業拠点がありお客様へ迅速・機動的な対応ができること。
 - 売上高の約半分が年間契約によるものであり、景気動向に左右されにくいこと。等が当社グループの強みです。

Q4 数値目標について詳しく教えてください。

(百万円)

	2019年3月期 連結(実績)	2020年3月期 連結(予想)	2024年3月期 連結(目標)
売上高	46,389	48,000	55,000
営業利益	2,600	2,650	3,000
経常利益	2,725	2,750	3,100
親会社株主に帰属する当期純利益	1,792	1,750	1,900
1株当たり当期純利益(円)	51.11	49.87	54

A4 株主価値の増大及び企業価値向上を目指す上で、1株当たり当期純利益(EPS)を重要な指標と捉え、5年後の目標数値を右記の通りといたしました。

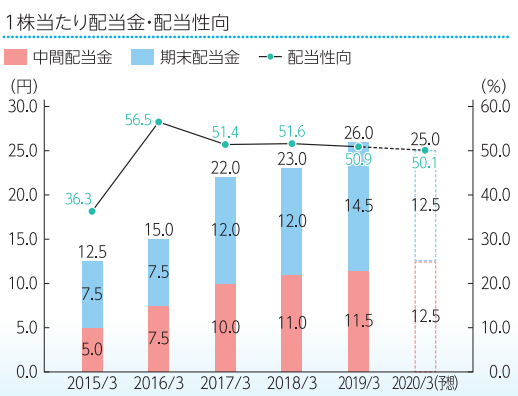
Q5 最後に、今後の株主還元方針について教えてください。

A5 利益還元の基本方針につきましては、連結配当性向50%を維持していくこととしており、本計画では、5年後の年間配当金を1株につき27円とさせていただくことを目指してまいります。

年間	2019年3月期(実績)	2020年3月期(予想)	2024年3月期(目標)
	26円 連結配当性向50.9%	25円 連結配当性向50.1%	27円
中間/期末	11.5円/14.5円	12.5円/12.5円	—

本計画の推進により今後も企業価値向上に努め、株主の皆様への利益還元を充実させてまいりますので、引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※詳細は、2月14日公表の「2019年中期5ヵ年経営計画」の策定に関するお知らせをご覧ください。



2019年度上半期のIRスケジュール

日付	内容	開催場所
2019年 5月 14日	2019年3月期 決算発表	—
6月 5日	2019年3月期 アナリスト向け決算説明会	東京
7月 21日	第56回定時株主総会	名古屋
7月 1日	東京 株主様向け会社説明会	東京
7月 2日	名古屋 株主様向け会社説明会	名古屋
7月 4日	大阪 株主様向け会社説明会	大阪
7月 19・20日	名証IRエキスポ2019	名古屋
7月 31日	2020年3月期 第1四半期決算発表	—
9月 3日	株式投資サマーセミナー2019	名古屋

【株主の皆様のご意見】

- 御社の魅力は会社四季報だけではなかなか伝わらない(B to Bということもあり)ので、ぜひ、今後もIRセミナーやイベント等に出席していただきたい。
- 働き方改革をととても熱心に進められていて「人材こそが最大の財産、企業活動の源泉」という考え方を大切にされていると思う。

※本誌作成時点での実績・予定となります。

会社概要

(2019年3月31日現在)

- 商号 日本空調サービス株式会社
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.
- 住所 〒465-0042
愛知県名古屋市名東区照が丘239番2
- TEL 052-773-2511 (代表)
- 設立 1964年(昭和39年)4月28日
- 資本金 1,139,575千円
- 事業内容 総合建物設備メンテナンスサービス業
- 従業員数 1,237名

役員

(2019年6月21日現在)

取締役	
代表取締役社長	田中洋二
取締役	草野幸士
取締役	中村秀一
取締役	花田良徳
取締役	渡邊一彦
取締役	中町博司
取締役	室谷敏彰
取締役	景山龍夫
取締役	森田尚男

執行役員	
執行役員	中村秀一
執行役員	中司等
執行役員	花田良徳
執行役員	草野幸士
執行役員	依藤敏明
執行役員	松本恒臣
執行役員	首藤健
執行役員	松井正
執行役員	渡邊一彦
執行役員	南清司
執行役員	諏訪雅人
執行役員	大木正毅

- (注) 1. 取締役 草野幸士、中村秀一、花田良徳及び渡邊一彦は、執行役員を兼務しております。
 2. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、社外取締役です。
 3. 取締役 景山龍夫氏及び森田尚男氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。
 4. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、社外監査役です。
 5. 監査役 佐伯典久氏及び寺澤実氏は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所に独立役員として届け出ております。

監査役	
常勤監査役	小林正博
監査役	渡邊資史
監査役	佐伯典久
監査役	寺澤実

株式情報

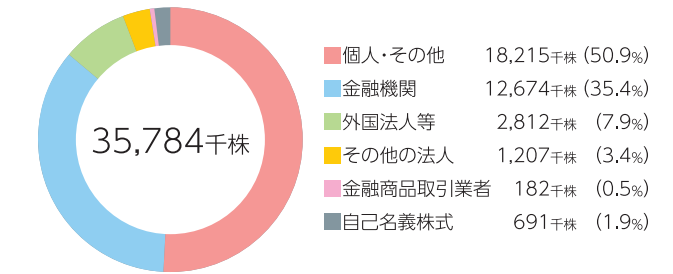
(2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 72,000,000株
- 発行済株式総数 35,784,000株
- 株主数 5,664名
- 大株主の状況

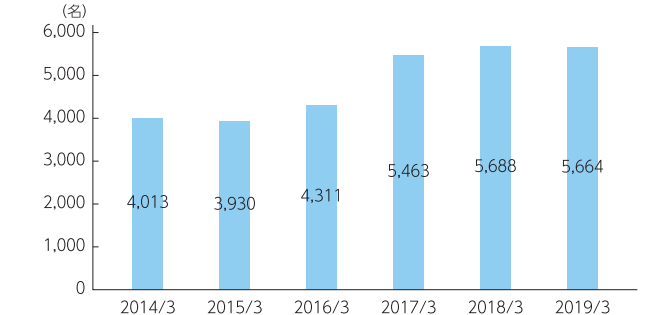
株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,857
日本空調サービス従業員持株会	2,704
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,971
株式会社三菱UFJ銀行	1,640
株式会社愛知銀行	1,336
東京海上日動火災保険株式会社	1,128
岐阜信用金庫	800
K I A F U N D 1 3 6	718
岡地修	578
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	491

※当社は自己株式(691千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

●所有者別株式分布状況



●株主数推移(自己・機構名義含む)



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL www.nikkei.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

- 注意
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。